

基礎看護学Ⅰ

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 三浦 まゆみ 教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	1	区分・時間数	講義 9時間 演習 13.5時間
期間	前期		
単位数	1単位		

・学習方針（講義概要等）

看護技術とは何かを理解し、あらゆる健康レベルの人々への看護実践に共通な基本技術を学ぶ。人間関係を成立および発展させる技術で対象者と関わる基本を学ぶ。また、療養環境を整えること、ボディメカニクス、感染予防の技術、睡眠と休息について学ぶ。ベッドメイキングやリネン交換、寝衣交換、移乗、移送および手指衛生について、演習を通してその技術を習得する。

・教育成果（アウトカム）

実施する看護技術の原理・原則を理解し、手順どおりに行うことに集中するのではなく、相手に不快な思いや苦痛を与えないような方法を考えて実践できるようになる。授業内容の理解、演習への積極的な参加、主体的な自己学修（視聴覚教材の利用を含む）を通してその方法を身に付けることができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 2, 3, 4

・到達目標（SBO）

1. 看護の行為としての看護技術の目的・特徴と評価する方法を説明できる。
2. 対象者の安全・安楽・自立を目指した行為であることを説明できる。
3. 看護におけるコミュニケーション技術を修得する。
4. 安全な療養環境について説明できる。
5. 感染予防ができる。
6. 基本的体位を理解し、安楽を図ることができる。
7. 環境調整技術を修得する。
8. 活動・休息援助技術を修得する。
9. 衣生活援助技術を修得する。

・授業日程

(矢) 西 1-A 講義室、(矢) マルチメディア教育研究棟 1 階研修室 1・2
 (矢) マルチ 2-A 実習室、(矢) マルチ 2-B 実習室、(矢) マルチ 3-B 実習室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
5/7	木	5	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	看護技術とは コミュニケーションの技術 安全管理の技術 ・看護と看護技術の関連性、実践していくための態度について述べる ことができる ・看護師がコミュニケーションの技術を用いて、看護の目的を達成していくことの重要性を述べる ことができる
5/11	月	2	共通基盤看護学講座	柏木 ゆきえ 講師	感染予防の技術① ・感染成立の要件、スタンダードプリコーション、感染経路別予防策を述べる ことができる ・感染性廃棄物の取り扱い方法を説明できる
5/14	木	5	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	安楽確保の技術 環境を整える技術① ・環境が生活に及ぼす影響について述べる ことができる ・療養環境の調整の方法を説明できる ・患者と看護師の双方に負担をかける 姿勢と動作を説明できる
5/25	月	3	共通基盤看護学講座	柏木 ゆきえ 講師	活動/休息の援助技術① ・活動の意義と援助の目的について説明 できる ・運動機能の維持・回復のための援助を 説明できる
6/8	月	3	共通基盤看護学講座	柏木 ゆきえ 講師	睡眠と休息の援助 ・睡眠・休息のメカニズムとその援助 について説明できる

6/15	月	3	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	患者の状態の観察とアセスメント① ・看護に必要な患者の情報を収集するための方法を説明できる
------	---	---	-----------	-----------	--

【演習】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
5/11	月	3	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授 柏木 ゆきえ 講師 小松 恵 特任講師 佐藤 奈美枝 助教 小林 由美子 助教 野里 同 助教 小坂 未来 助教	感染予防の技術②（手指衛生） （個人防護用具の使用法） ・手指衛生の方法、個人防護用具の使用方法を説明できる ・感染経路への対策としての手指衛生を実施できる ・個人防護用具の着脱ができる
5/18	月	3	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授 柏木 ゆきえ 講師 小松 恵 特任講師 佐藤 奈美枝 助教 小林 由美子 助教 野里 同 助教 小坂 未来 助教	環境を整える技術② （ベッドメイキング） ・リネンの種類、ベッドメイキングの方法を説明できる ・根拠に基づいたベッドメイキングができる
5/18	月	4	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授 柏木 ゆきえ 講師 小松 恵 特任講師 佐藤 奈美枝 助教 小林 由美子 助教 野里 同 助教 小坂 未来 助教	環境を整える技術③ （臥床患者のリネン交換） ・臥床患者のリネン交換の方法を説明できる ・根拠に基づいた臥床患者のリネン交換ができる
6/1	月	3	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授 柏木 ゆきえ 講師 小松 恵 特任講師 佐藤 奈美枝 助教 小林 由美子 助教 野里 同 助教 小坂 未来 助教	活動/休息の援助技術② （体位変換） ・体位変換の目的、方法、留意点について説明できる ・ボディメカニクスの原則に基づいた体位変換ができる

6/1	月	4	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授 柏木 ゆきえ 講師 小松 恵 特任講師 佐藤 奈美枝 助教 小林 由美子 助教 野里 同 助教 小坂 未来 助教	活動/休息の援助技術③ (車椅子) (ストレッチャー) ・ 車椅子・ストレッチャーでの移動方法、留意点について説明できる ・ 安全な移動の援助ができる
6/8	月	4	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授 柏木 ゆきえ 講師 小松 恵 特任講師 佐藤 奈美枝 助教 小林 由美子 助教 野里 同 助教 小坂 未来 助教	衣生活の援助技術 ・ 衣服の意義と寝衣交換の目的・方法・留意点について説明できる ・ 根拠に基づいた寝衣交換ができる
6/22	月	3	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授 柏木 ゆきえ 講師 小松 恵 特任講師 佐藤 奈美枝 助教 小林 由美子 助教 野里 同 助教 小坂 未来 助教	患者の状態の観察とアセスメント② ・ 看護に必要な患者の情報を収集するための方法を実施できる
6/22	月	4	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授 柏木 ゆきえ 講師 小松 恵 特任講師 佐藤 奈美枝 助教 小林 由美子 助教 野里 同 助教 小坂 未来 助教	患者の状態の観察とアセスメント③ ・ 看護に必要な患者の情報を収集するための方法を実施できる
7/6	月	3	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授 柏木 ゆきえ 講師 小松 恵 特任講師 佐藤 奈美枝 助教 小林 由美子 助教 野里 同 助教 小坂 未来 助教	技術到達度の確認 ・ これまで学んできた看護技術の中で、指定した看護技術を原則に基づき、確実に実施することができる

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	基礎看護技術Ⅰ 第5版	深井喜代子編集	メヂカルフレンド社	2017
教	基礎看護技術Ⅱ 第4版	深井喜代子編集	メヂカルフレンド社	2017
参	根拠と事故防止からみた 基礎・臨床看護技術 第2版	任和子 井川順子 秋山智弥 編集	医学書院	2017

・成績評価方法

筆記試験 70 点、演習への取り組み 30 点の合計 100 点とする。

＊演習への取り組みは、演習の参加状況・態度と指定された提出資料の内容・提出期限の厳守、学修課題の実施状況（課題レポート、視聴覚教材の視聴）も含む

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

シラバスに記載されている授業内容および到達目標を確認し、予習した上で授業に臨むこと。本科目での指定の教科書だけでなく、解剖生理学など広く授業内容に関連した教科書の章を事前に読んで参加すること。演習開始前には、関連する教科書の章および配布資料を読む、“e ナーストレーナーの動画”または、“Webclass にあげた動画”の視聴覚教材を視聴するなど、イメージトレーニングを行って、学修のポイントを理解した上で参加すること。また、各回で予習復習を目的とした学修課題が提示されるため、その課題に取り組むこと。各授業について、最低 30 分以上の事前学修を要する。看護技術の修得は、繰り返し実施することが必要なため、授業終了後も主体的に技術練習を行い、自己学修を重ねて知識と実技の定着に努めること。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

レポート等の課題は、適宜コメントし返却する。

技術到達度の評価は評価表に基づき評価し、学生にフィードバックする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：専門分野Ⅰ 基礎看護学

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
演習	HD デジタルビデオカメラ（XA35）	1	手技撮影・投影用
演習	ベッド・折りたたみカート及びシーツ類	24	全項目共通で使用

演習	ストレッチャー	4	移乗・移送
演習	車椅子	8	移乗・移送
演習	ロンボ ポジショニングピロー導入セット 5種類(6個)	12	体位変換
演習	病衣	48	寝衣交換